

熊本県土木部									
熊本圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】									
R7. 5. 28時点									
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	森林保全の整備・保全、治山ダム の整備、山腹法面の保護	・砂防設備の整備	河内川水系	土石流危険渓流の土砂災害から下流部の人家、耕地、公共施設を保全し、河川への土砂流出を抑制するため、砂防えん堤等を設置します。 岩戸川第2谷、第3谷砂防堰堤整備	R6時点		目標	・第2谷の用地交渉を進めるとともに管理用道路の工事に着手。	・第2谷に係るに用地交渉を行うとともに引き続き管理用道路の工事を進めていく予定。
	森林保全の整備・保全、治山ダム の整備、山腹法面の保護	・砂防設備の整備	坪井川水系	土石流危険渓流の土砂災害から下流部の人家、耕地、公共施設を保全し、河川への土砂流出を抑制するため、砂防えん堤等を設置します。 小山田川砂防堰堤整備	R6時点		目標	・砂防堰堤の位置の選定に向けて用地境界等を確認するために関係機関・関係者と協議等を踏まえて課題等を整理。	・用地境界等の課題を踏まえ、今後の事業の取り組みについて検討予定。
	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の掘削・樹木伐採	・河川改修	圏域全体	浸水被害低減のためのハード対策として、河道拡幅、堤防強化、橋梁架替、堰改築等を実施します。	R6時点		目標	・井芹川（左岸）の護岸工を実施	・井芹川（戸坂地区）・（立福寺地区）で護岸整備予定
	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の掘削・樹木伐採	・河川改修	千間江湖水系	浸水被害低減のためのハード対策として、河道拡幅等を実施します。	R6時点		目標	・護岸改修を実施中。（国道501号下流（右岸））	・国道501号下流（左岸）の河川改修を実施予定。
	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の掘削・樹木伐採	・橋梁架替	千間江湖水系	浸水被害低減のためのハード対策として、橋梁架替等を実施します。	R6時点		目標	・橋梁迂回路となる区域の借地交渉を実施	・橋梁迂回路となる区域の借地交渉予定
	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の掘削・樹木伐採	・河川改修 ・堰改築	除川水系	浸水被害低減のためのハード対策として、河道拡幅、堰改築等を実施します。	R6時点		目標	堰改築2期工事（右岸）の施工、取水樋門詳細設計を実施	堰改築2期工事（右岸）及びゲート工事の施工
	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の掘削・樹木伐採	・堤防強化	坪井川水系	浸水被害低減のためのハード対策として、堤防強化等を実施します。	R6時点		目標	堤防強化工事（左岸）L=約50mの施工	堤防強化工事（右岸）L=約90mの施工
被害対象を減少させるための対策	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の掘削・樹木伐採	・河道掘削	圏域全体	洪水の流下に支障となる河道内の堆積土砂（樹木伐採含む）を掘削し、氾濫防止を図ります。	R6時点		目標	坪井川外3河川で堆積土砂掘削（約5,500m3）工事を実施	継続して堆積土砂が確認された河川（坪井川、井芹川等）で掘削を進める
	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の掘削・樹木伐採	・遊水地の掘削・伐採（坪井川・花立・沖野）	坪井川水系	・遊水地内の掘削・樹木伐採	R6時点		目標	・遊水地の効率的・持続可能な維持管理ができるよう、地域住民との意見交換会を踏まえ、利活用施設（広場等）の再配置計画を検討し、その計画に基づき、一部工事に着手。 ・昨年度導入した草刈り機で堤防除草を実施。	・R6年度に発注した工事を進め、工事に支障となる樹木を伐採する。 ・継続して堤防除草を実施
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	・土砂災害警戒区域等の指定	圏域全体	住民の生命を守るため、土砂災害が発生する恐れがある土地の区域を指定しています。	R6時点	目標		・これまでに指定した箇所において、施設整備などを踏まえた区域の見直しを作業を進めた。	・土砂災害警戒区域等に関する問い合わせへの対応や必要な箇所において適宜見直しなどに取り組む。
	下水道施設の機能確保	・下水道施設の耐水化	圏域全体		R6時点	目標		－	－
	土地の水害リスク情報の充実	・河川情報（水位計、河川カメラ）の提供	圏域全体	水位計、河川カメラの河川情報は防災情報くまもとや川の防災情報でリアルタイム情報を配信しています。 河川カメラ等の整備を実施し、住民の避難活動に資する河川情報の充実を図ります。	R6時点		目標	－	－
	避難体制等の強化	・水位周知河川以外の河川における洪水浸水想定区域図の作成周知	圏域全体	水害リスク情報の空白地帯の解消に向けて、水位周知河川以外の中小河川においても、洪水浸水想定区域図を令和4年3月末までに作成します。 作成した洪水浸水想定区域図に関しては、県ホームページで公表し住民への周知を図ります。	R6時点		目標	－	－
	避難体制等の強化	・水害対応タイムラインの運用	圏域全体	タイムラインが策定されていない防災関係機関において策定を支援します。 また、住民一人一人が主体的に避難活動を実施できるようにマイ・タイムラインの作成を推進します。	R6時点		目標	－	－
	避難体制等の強化	・要配慮者利用施設の避難確保計画作成、避難訓練の実施の促進・支援	圏域全体	洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援します。	R6時点		目標	－	－

熊本圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】										R7.5.28時点
	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況				今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容	
					短期	中期	中長期			
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能向上	・田んぼダム等の推進	圏域全体	実証実験が開始された人吉・球磨地域において田んぼダムの効果検証を行い、課題を整理した上で、熊本県全域への展開を検討しています。	R6時点		目標	・田んぼダムの取組みの普及・拡大に向け、各地域において普及・拡大を担う人材（田んぼダムマイスター）の育成のための研修会等を実施したほか、市町村の広報誌等に掲載し、普及啓発を実施	・引き続き田んぼダムの取組みの普及・拡大に向け、各地域において普及・拡大を担う人材（田んぼダムマイスター）の育成及び広報活動など実施予定	
	内水氾濫対策	・農業水利施設の整備	圏域全体	湛水被害低減のためのハード対策として、排水機場の更新整備、農業水利施設の整備等を実施します。	R6時点		目標	—	—	
	内水氾濫対策	・排水機場の更新整備	除川水系	湛水被害低減のためのハード対策として、排水機場の更新整備、農業水利施設の整備等を実施します。	R6時点		目標	—	—	
	内水氾濫対策	・排水機場の更新整備	千間江湖水系	湛水被害低減のためのハード対策として、排水機場の更新整備、農業水利施設の整備等を実施します。	R6時点		目標	—	—	
	内水氾濫対策	・排水機場の更新整備	坪井川水系	湛水被害低減のためのハード対策として、排水機場の更新整備、農業水利施設の整備等を実施します。	R6時点		目標	—	—	

熊本圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】										R7. 5. 28時点
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況				今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容	
					短期	中期	中長期			
					R6時点					森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、熊本圏域二級河川上流域の森林において、間伐等の森林整備を実施しました。（実施市町村：熊本市）
	森林保全の整備・保全、治山ダム の整備、山腹法面の保護	・森林の整備・保全（保育間伐、間伐、枝打ち、植付、下刈等）	河内川水系	森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、山地災害危険地区や熊本圏域二級河川上流域等の森林を主体として、再造林や間伐等の森林整備を推進します。	R6時点			森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、熊本圏域二級河川上流域の森林において、間伐等の森林整備を実施しました。（実施市町村：熊本市）	森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、山地災害危険地区や熊本圏域二級河川上流域等の森林を主体として、再造林や間伐等の森林整備を実施予定。	
	森林保全の整備・保全、治山ダム の整備、山腹法面の保護	・森林の整備・保全（保育間伐、間伐、枝打ち、植付、下刈等）	坪井川水系	森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、山地災害危険地区や熊本圏域二級河川上流域等の森林を主体として、再造林や間伐等の森林整備を推進します。	R6時点			森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、熊本圏域二級河川上流域の森林において、間伐等の森林整備を実施しました。（実施市町村：熊本市）	森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、山地災害危険地区や熊本圏域二級河川上流域等の森林を主体として、再造林や間伐等の森林整備を実施予定。	
被害対象を減少させるための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和5年度時点の取組進捗状況				今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容	
					短期	中期	中長期			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和5年度時点の取組進捗状況				今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容	
					短期	中期	中長期			

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	今後の取組予定
					取組工程の進捗状況				
					短期	中期	中長期		令和7年度に取組予定の内容
	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の削除・樹木伐採	中小河川の河道拡幅・橋梁架替・河床掘削等	圏域全体	・洪水による被害の防止・軽減を図るため、河道拡幅、橋梁架替、貯留施設の整備、河川の浚渫等を実施する。	R6時点		目標	・浸水被害低減のため、護岸工事や浚渫等を実施した。	事業を継続して実施していく。
	内水氾濫対策	一般排水路の整備	圏域全体	・大雨時における浸水被害軽減を目的に一般排水路の整備を計画・実施する。	R6時点		目標	・浸水被害低減のため、改良工事や浚渫等を実施した。	事業を継続して実施していく。
	内水氾濫対策	下水道浸水対策の実施	圏域全体	・市街化区域における内水対策として、熊本市下水道浸水対策計画に基づき浸水対策重点6地区の整備を実施する。	R6時点		目標	・浸水被害低減のため、補修工事や土砂撤去等を実施した。	事業を継続して実施していく。
	内水氾濫対策	雨水排水用及び農業用排水機場の整備	圏域全体	・雨水排水用及び農業用排水機場について、排水能力の増強や老朽化に伴う更新等を計画・実施する。	R6時点		目標	・排水能力の増強や老朽化に伴う更新等を排水機場において実施した。	事業を継続して実施していく。
	農業水利施設の整備	農業水利施設の整備	圏域全体	・農業用排水路について、未整備区間の整備や老朽化に伴う更新等を計画・実施する。	R6時点		目標	・未整備区間や老朽化した箇所において、農業用排水路の整備を実施した。	事業を継続して実施していく。
	流域の雨水貯留機能向上	一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設設置指導	圏域全体	・一定規模以上（5000㎡）の開発行為に対する雨水貯留施設(調整池)の設置を推進 ・一定規模以上（1000㎡）の開発行為に対する雨水浸透ます設置を推進 ・透水性舗装を推進	R6時点		目標	・開発許可申請に対し雨水流出抑制指導を行った。	事業を継続して実施していく。
	流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助	圏域全体	・地下水の涵養対策、節水対策及び雨水の流出抑制による水害軽減を図るため、雨水浸透ますや雨水貯留タンクの設置を推進する。	R6時点		目標	・令和6年度において、令和6年12月末時点で雨水浸透柵12基※の設置補助を実施した。 ※熊本市域全域 ・令和6年度においては、令和6年12月末時点で、雨水貯留タンク12基、浄化槽転用3基※の設置補助を実施した。 ※熊本市域全域	事業を継続して実施していく。
流域の雨水貯留機能向上	ため池の有効活用	圏域全体	・水利権が放棄されたため池を治水利用に有効活用し、雨水貯留機能の向上を図る。 ・農業用ため池の洪水吐にスリット（切り欠き）を設けて大雨前に貯水位を低下させ、洪水調節容量を確保する。	R6時点		目標	・ため池において、雨水貯留機能の向上や大雨前の調節容量確保等を実施した。	事業を継続して実施していく。	
被害対象を減少させるための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況				
					短期	中期	中長期	令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定（防災指針の追加を含む）、内外水一体系のリスクマップをふまえた立地適正化計画の見直し	除川水系 千間江瀬水系 坪井川水系	・立地適正化計画に防災指針を追加し、災害リスクに備えた多核連携都市を目指す。 ・居住誘導区域を中心に防災部局等の保有するハザード情報と都市部局が保有する都市の情報を組み合わせ災害リスクを分析。 ・各地区の防災上の課題を踏まえ、関係部局と連携し災害リスクの回避や低減を図るための取組を総合的に組み合わせ展開。	R6時点		目標	・令和3年3月の立地適正化計画改定により追加した“防災指針”を活用し、防災部局や市民部局などと連携した災害リスクの周知や各種取組の推進を図った。 ・令和6年度に公表された内外水一体系のリスクマップも踏まえ、立地適正化計画の“防災指針”の見直しを行っている。	事業を継続して実施していく。 また、防災指針を含む立地適正化計画の見直しを行う。
	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	土砂災害特別警戒区域からの移転促進	河内川水系 坪井川水系	・熊本県では土砂災害特別警戒区域（以下、レッドゾーン）内に居住する方々の安全な区域への住宅移転を促進する「土砂災害危険住宅移転促進事業」を平成27年に創設しており、本市においても「熊本市土砂災害危険住宅移転促進事業」を創設し、住宅移転を促進している。	R6時点		目標	・令和6年度において、令和6年12月末時点で1件申請※があり、レッドゾーン（他市町村）から熊本市内に移転している。 ※熊本市域全域	事業を継続して実施していく。
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	がけ地近接等危険住宅移転事業	圏域全体	・がけ崩れ、土石流、地すべり等の危険から住民の生命の安全を確保するため、災害危険区域等内に居住する人に対して、補助金を交付し、危険住宅からの移転を促進する。	R6時点		目標	・令和6年度において、令和6年12月末時点で補助金交付：1件である。	事業を継続して実施していく。	
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	中心市街地における老朽建築物の建替促進による防災機能の強化	坪井川水系	・まちなか再生プロジェクトは、容積率割増等の3つの取組により、老朽建築物の建替等を促すとともに、併せて、空地を生み出すことで災害時の避難・活動空間を確保するなど、災害に強い上質な都市空間を創出。 ・財政支援の取組では、水害時でも建物の機能が確保されるよう電気設備等の浸水対策※を図ることを条件としている。 ※浸水想定深以上に、電気設備を配置すること等。	R6.3時点 27件		R11目標 100件	・“まちなか”における建替え件数※1の目標として、10年※2間で100件※3を掲げている ※1：店舗(ホテル含む)・事務所を含む建築実績 ※2：令和2年4月1日～令和12年3月31日 ※3：熊本地震前の、まちなかの一定規模以上の建物の新築件数が年5件。これを、倍増させる。（5件×2×10年） ・令和2年度から令和5年度の実績は、まちなか再生プロジェクトを活用したものが10件、その他が17件。合計27件	事業を継続して実施していく。	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況				
					短期	中期	中長期	令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
	土地の水害リスク情報の充実	熊本市ハザードマップ等を活用した情報発信	圏域全体	・昨年12月の白川浸水想定区域図等の変更に伴い、今年3月に熊本市ハザードマップ（WEB版）を更新。 ・家屋倒壊等氾濫想定区域の設定及び道路冠水想定箇所、地下街・地下空間施設等の情報を新しく追加 ・上記ハザードマップの活用については、出水期前に本市広報誌及びマスメディアを活用し周知啓発を行った	R6時点		目標	・熊本市ハザードマップ（スマートフォン版、紙版）、熊本市防災情報ポータルの運用を行った。 ・出水期前の積極的な周知啓発を実施した。 ・令和7年3月31日に熊本市ハザードマップを更新した。	熊本市ハザードマップ（スマートフォン版）の運用・更新、出水期前の積極的
	土地の水害リスク情報の充実	地域版ハザードマップの作成促進	圏域全体	・主に町内単位で、地域住民と行政が一体となってワークショップや勉強会、まち歩きを行い、地域の実情に合わせて作成するハザードマップのことで、地域の危険力所をはじめ、指定避難所や地域が指定する避難所、交番や消防署等の連絡先を掲載する。	R6時点		目標	・地域版ハザードマップ未作成町内の新規作成を促進した。	事業を継続して実施していく。
	土地の水害リスク情報の充実	防災教育、防災士の育成、自主防災組織の活動の推進等	圏域全体	・小学校区ごとの校区防災連絡会や避難所ごとの避難所運営委員会を結成し、地域での防災訓練を実施するなど、地域における防災体制を強化する。 ・熊本市における災害リスクを周知し、災害の情報収集方法や、避難情報、避難行動についての研修や防災研修を実施する。	R6時点		目標	・小学生を対象とした防災啓発動画作成・提供した。 ・自主防災組織の活動に対して支援した。 ・防災士フォローアップ研修を実施した。	事業を継続して実施していく。
	避難体制等の強化	要配慮者利用施設の避難確保計画作成、避難訓練の実施の促進・支援	圏域全体	・洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援する。	R6時点		目標	・要配慮者利用施設避難確保計画未作成施設に対する作成促進と当該計画に基づく訓練実施を促進した。	事業を継続して実施していく。
避難体制等の強化	河川等監視カメラの公開	坪井川水系	・大雨等による浸水被害対策として、市内43か所の河川等監視カメラの画像をWEBサイトに公開している。	R6時点		目標	・河川等監視カメラの画像をWEBサイトに継続して公開した。	事業を継続して実施していく。	
避難体制等の強化	内水浸水想定区域図の公表	圏域全体	・九州北西部地区で想定最大規模の降雨（1時間雨量153mm）があった際に想定される内水氾濫による浸水想定区域図をR6年10月に公表している。	R6時点		目標	・本市ホームページ上に内水浸水想定区域図を継続して公表した。	事業を継続して実施していく。	
流域治水の情報発信	くまもと「水」検定	圏域全体	・地下水の仕組みや水に関する歴史・文化などを楽しく学び、地下水保全を担う人材育成や「地下水都市熊本」の魅力づくりにつなげていくことを目的に「水」に関するご当地検定を実施する。	R6時点		目標	・令和6年度までに1～3級を約67千人が受験し、約56千人が合格した。	事業を継続して実施していく。	

合志市									
熊本圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】									
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	流域の雨水貯留機能向上	・下水道雨水管渠の整備	坪井川水系	坪井川水系堀川の流域にある黒石雨水幹線集水区域の浸水対策として、下水道雨水幹線のバイパス管整備により、浸水被害の解消を図ります。	R6時点 目標			工事発注・工事請負契約を実施（下水道課）	工事完了予定（下水道課）
	流域の雨水貯留機能向上	・開発行為に対する水貯留施設（調整池）の設置の指導	坪井川水系	開発行為に伴って増加する雨水の河川への流出量を抑制するため、一定規模以上の開発行為に対する調整池等の設置を指導します。	R6時点		目標	（継続）	（継続）
被害対象を減少させるための対策	流域の雨水貯留機能向上	・浸透樹の整備	坪井川水系	開発行為に伴って増加する雨水の河川への流出量を抑制するため、住宅等への雨水貯留・浸透施設の設置を指導します。	R6時点		目標	（継続）	（継続）
	流域の雨水貯留機能向上	・調整池の整備	坪井川水系	開発行為に伴って増加する雨水の河川への流出量を抑制するため、一定規模以上の開発行為に対する調整池等の設置を指導します。	R6時点		目標	（継続）	（継続）
	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	土地の被害リスク情報の充実	・ハザードマップのWeb化	坪井川水系	合志市ホームページで公表されている合志市総合防災マップには、最新の災害リスク情報（水害、土砂災害等）を取り入れて随時更新し、WEB公開や戸別配布等により広く住民への周知を図ります。	R6時点		目標	Web版ハザードマップに多言語対応機能（英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語）を追加	Web版ハザードマップに多言語（繁体語・簡体語）対応機能を追加予定
	土地の被害リスク情報の充実	・情報伝達の迅速化・多重化（防災無線、エリアメール、市ホームページ、住民登録制メール、SNS（twitter）による避難指示・勧告）	坪井川水系	防災行政無線、市ホームページ、防災メール、twitterなどを活用し、住民への情報提供を行う。	R6時点		目標	（継続）	（継続）
	土地の被害リスク情報の充実	・土砂災害警戒区域への戸別受信機の設置	坪井川水系	新に土砂災害警戒区域に指定された住民に対し、戸別受信機設置の要否について確認し、必要とする住民へは戸別受信機を配布する。	R6時点		目標	実績なし	必要に応じ対応（現在のところ予定なし）
	避難体制等の強化	・自主防災組織の組織化、活動の推進	坪井川水系	自主防災組織未設置の自治会等に対し、組織設立の支援を行う。	R6時点		目標	1地区設立完了	防災対策支援官（R5年度から採用）による設立支援を継続
	避難体制等の強化	・総合防災訓練の実施	坪井川水系	毎年、開催地域を変え様々なフェーズに合わせた訓練を実施する。	R6時点		目標	黒石コミュニティ地区（8行政区）の住民を対象に総合防砂訓練を実施	黒石コミュニティを中心に開催予定
	避難体制等の強化	・防災士の養成	坪井川水系	菊池管内2市2町で防災士養成講座を共同開催（主会場は持ち回り）し、防災士の育成を図る。	R6時点		目標	菊池市を主会場に開催	菊池市を主会場に開催予定
	避難体制等の強化	・要配慮者利用施設の避難確保計画作成、避難訓練の実施の促進・支援	坪井川水系	洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援します。	R6時点		目標	（継続）	（継続）

熊本圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】									
R7.5.28時点									
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	内水氾濫対策	・下水道雨水排水施設の整備	坪井川水系	坪井川水系堀川の流域にある花立・武蔵ヶ丘北地区の内水対策として、雨水排水施設の整備により、浸水被害の解消を図ります。	R6時点	目標		整備地区の浸水被害解消を図るため、雨水排水施設の整備を実施した。	雨水排水施設の整備を行い、浸水被害の解消に取り組む。
	流域の雨水貯留機能向上	・個人宅における雨水浸透ますの助成	坪井川水系	開発行為に伴って増加する雨水の河川への流出量を抑制するため、住宅等への雨水貯留・浸透施設の設置を支援します。	R6時点	目標		0件	1件4基の雨水浸透ますの助成を予定。
被害対象を減少させるための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策									
	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	土地の水害リスク情報の充実	・情報伝達の迅速化・多重化(防災無線、エリアメール、町ホームページ、住民登録制メール、Yahoo!防災速報、LINEによる避難指示等)	坪井川水系	防災無線や登録制メールの「きくよう安心メール」、Yahoo!防災速報アプリなどにより、迅速に災害情報等を住民に伝えます。	R6時点	目標		台風、大雨等防災無線、エリアメール、町ホームページ、住民登録制メール、Yahoo!防災速報、LINEによる避難指示等を周知	台風、大雨等防災無線、エリアメール、町ホームページ、住民登録制メール、Yahoo!防災速報、LINEによる避難指示等を周知
	避難体制等の強化	・L2に対応した総合防災マップの作成・全戸配布及びWEB版マップの作成・公開	坪井川水系	菊陽町総合防災マップを令和4年度当初に更新し、最新の災害リスク情報（L2洪水、土砂災害等）を取り入れて全戸配布します。また、WEB版を作成・公開し、新しい情報を掲載していきます。	R6時点	目標		菊陽町総合防災マップ更新、全戸配布 WEB版を作成・公開 水位計算手法の見直しによる解析データをWeb版に反映し、浸水エリア等を更新した。	更なる水害リスク情報の周知のため、WEB版ハザードマップの内容・機能の更新を予定。
	避難体制等の強化	・災害時の地域公民館活用（耐震診断改修工事）	坪井川水系	災害時に安心して避難できるよう、地区公民館の耐震補強工事を支援します。	R6時点	目標		地域公民館の耐震診断においては、過年度実施済み 令和5年度、耐震改修設計は、実施していない 耐震改修工事及び監理についても実施していない	行政区からの要望により、4行政区の耐震改修工事設計を実施予定 行政区からの要望により、5行政区の耐震改修工事及び監理を実施予定
	避難体制等の強化	・自主防災組織の活動支援、設立支援	坪井川水系	自主防災組織に対し、補助金交付することで活動及び設立を支援します。	R6時点	目標		自主防災組織52団体自主防災組織に交付金を交付	52団体の自主防災組織に対し、補助金交付を予定。また、自主防災組織の未設立の行政区に対しては、設立を支援します。
	避難体制等の強化	・総合防災訓練の実施	坪井川水系	職員・住民等の防災意識及び知識を向上させ、実効性ある地域防災計画等の整備に努めるとともに、関係機関等連携体制の強化をはかり、災害に強い菊陽町を創造する。	R6時点	目標		10月6日（日）防災フェスタを開催し、マイタムラインの作成、防災気象実験、及びVR体験等により住民の防災意識を向上させた	10月第1日曜日防災フェスタを開催。体験型の各種イベント等を企画し来場者の防災意識を向上させる
	避難体制等の強化	・要配慮者利用施設の避難確保計画作成、避難訓練の実施の促進・支援	坪井川水系	洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援します。	R6時点	目標		洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施支援 避難確保計画については、全17施設が作成完了	浸水想定区域及び土砂災害警戒区域に位置する要配慮者利用施設の更新全施設において、避難確保計画作成及び避難訓練実施を支援する

大津町									
R7. 5. 28時点									
熊本圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】									
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の削除・樹木伐採	・調整池の浚渫等	町内	適宜調整池等の浚渫	R6時点	目標		適宜浚渫の実施	適宜浚渫の実施
	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の削除・樹木伐採	・掘削・浚渫	坪井川水系	護岸確認及び補強工事	R6時点	目標		護岸確認、補強工事検討	護岸確認、補強工事検討
	河道掘削、堤防強化、横断構造物の改築、遊水地の削除・樹木伐採	・調節池の整備	坪井川水系	浸水等の被害軽減のため、調整池の建設を計画しています。	R6時点	目標			
	流域の雨水貯留機能向上	・一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設設置指導 ・雨水貯留施設の設置補助	坪井川水系	開発地域における調整池及び浸透樹設置等の指導を行う。 雨水浸透樹設置補助事業を実施する。	R6時点		目標	雨水浸透樹設置補助事業及び開発事業等指導要綱に基づく浸透樹設置の指導を実施している。	雨水浸透樹設置補助事業及び開発事業等指導要綱に基づく浸透樹設置の指示を実施する。
被害対象を減少させるための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
	短期	中期	中長期						
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	土地の水害リスク情報の充実	・情報伝達の迅速化・多重化(防災行政無線における災害緊急情報の周知(メール・公式LINE・HPと連動))	坪井川水系	防災行政無線情報を発信 ※メール・公式ライン・HP	R6時点		目標	防災行政無線を活用して避難情報等を早期発信	防災行政無線を活用して避難情報等を早期発信
	避難体制等の強化	・自主防災組織の活動の推進	坪井川水系	「地域防災力活動支援事業」を実施し、自主防災組織の立上げ及び資材購入に対する補助金制度を設ける	R6時点		目標	「地域防災力活動支援事業」を実施し、自主防災組織の立上げ及び資材購入に対する補助金を給付	「地域防災力活動支援事業」を実施し、自主防災組織の立上げ及び資材購入に対する補助金を給付
	避難体制等の強化	・土砂災害警戒区域及び浸水想定区域のハザードマップ整備	坪井川水系	大津町ホームページで公表されている大津町洪水等ハザードマップには、最新の災害リスク情報(水害、土砂災害等)を取り入れて随時更新し、WEB公開や戸別配布等により広く住民への周知を図ります。	R6時点		目標	町管理河川の洪水浸水想定区域を新たに設定したハザードマップを作成	更新したハザードマップの住民周知
	避難体制等の強化	・要配慮者利用施設の避難確保計画作成、避難訓練の実施の促進・支援	坪井川水系	洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援します。	R6時点		目標	洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援	洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援

熊本圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

R7. 5. 28時点

認識をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	森林保全の整備・保全、治山ダムの整備、山腹法面の保護	・森林の整備・保全(植栽、下刈、保育間伐)	圏域全体	森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、二級水系流域の森林を主体とし、間伐等の森林の整備・保全を推進。	RS時点		目標	熊本圏域二級水系流域の森林を主体とした植栽等の森林の整備を行った。	森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、二級水系流域の森林を主体とし、引き続き、間伐等の森林の整備・保全を推進します。
被害対象を減少させるための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		